

新型コロナウイルス感染症予防接種について(説明書)

以下の説明をよくお読みになり、理解した上で、ご本人が希望した場合に限り接種を行います。

ご自身での記入が難しい方が接種を希望されている場合には、健康状態をよく把握しているご家族の方などの代理人がご記入ください。なお、接種される方の接種希望確認ができない場合は接種できません。

気にかかることや分からないことがある場合は、予防接種を受ける前に、接種医師にご相談ください。この予防接種は義務ではありませんので、十分に納得できない場合は、接種を見合わせましょう。

1 新型コロナウイルス感染症とは

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)とは、ヒトに感染する「コロナウイルス」として新たに見つかった「新型コロナウイルス」による感染症で、主に咳の飛沫や接触などを通じて感染します。

高齢者や心臓病、糖尿病等の基礎疾患のある人は重症化のリスクがありますが、20歳～50歳代の人でも呼吸器症状、高熱、下痢、味覚症状等、様々な症状がみられます。

2 新型コロナワクチンの接種の効果について

新型コロナワクチンは接種することによってウイルスの感染を予防する高い効果があり、重症化等を予防する効果も報告されています。

ただし、新型コロナウイルスは多数の変異株が確認されているため、すべての新型コロナウイルスを予防できるものではありません。

3 接種後の副反応について

接種後、接種部位の症状(痛み、赤み、腫れなど)、発熱、倦怠感、頭痛、筋肉や関節の痛み、寒気、下痢などの副反応を認めることがあります。

また、きわめてまれではありますが、重篤な健康被害の発生も報告されています。接種前に医師による健康状態の十分なチェックを受けることが必要です。

4 予防接種を受けることができない方

①接種当日、発熱している方(一般的に体温が37.5℃を超える場合)

②重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな方

急性な病気や薬を飲む必要ある日は、その後の病気の変化がわからなくなる可能性があるため、その日は接種を見合わせることを原則です

③ワクチンに含まれる成分によって、アナフィラキシーを起こしたことがある方「アナフィラキシー」は通常、接種後30分以内に起こるひどいアレルギー反応のことです。

発汗、顔がはれる、全身にひどいじんましんが出る、吐き気、嘔吐(おうと)、声が出にくい、息が苦しいなどの症状が続き、血圧が下がっていく激しい全身反応です。

④その他、予防接種を行うことが不適当な状態にあると医師が判断した方

5 接種を受ける前に、接種医師とよく相談した方が良い方

- ①心臓病、腎臓病、肝臓病や血液、その他の慢性の病気で治療を受けている方
- ②以前に予防接種を受けたとき、2日以内に発熱、発疹(ほっしん)、じんましんなどのアレルギーを思わせる異常が見られた方
- ③今までにけいれんを起こしたことがある方
- ④過去に免疫不全の診断がなされている方及び近親者に先天性免疫不全症の方がいる方
- ⑤ワクチンの成分に対して、アレルギーを呈する恐れがある方

6 予防接種を受けた後に

- ①予防接種を受けた後30分間は、急な副反応が起こることがあります。医師(医療機関)とすぐに連絡が取れるようにしておきましょう。
- ②接種後の副反応の多くは24時間以内に出現します。
この間は特に体調に注意しましょう。
- ③入浴は差し支えありませんが、接種した部位を強くこするのはやめましょう。
- ④接種当日は普段どおりの生活をしてかまいませんが、激しい運動や大量の飲酒は避けましょう。

7 新型コロナウイルス感染症予防接種による健康被害の救済について

この予防接種は、予防接種法に基づく定期予防接種として取り扱われます。そのため、この接種で重篤な健康被害を受けた場合は、予防接種法に基づく救済の対象となる場合があります。

【問い合わせ】

二宮町子育て・健康課健康づくり班(保健センター内)電話 71-7100